



令和2年11月13日
陸幕広報室

令和2年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-79）の概要について

陸上自衛隊は、以下のとおり令和2年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）（YS-79）を実施しますので、お知らせいたします。

本演習は陸上自衛隊が米軍と行う最大の指揮所演習であり、コロナ禍にあっても日米間のテレビ会議を活用しつつ本演習を実施することにより、陸上自衛隊と米陸軍等との連携を引き続き強化していきます。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、同活動に係る能力の維持及び向上を図る。

2 期間

令和2年12月2日（水）～15日（火）

3 場所

健軍駐屯地、朝霞駐屯地、キャンプ・コートニー等

4 演習実施部隊等

(1) 自衛隊

ア 統裁官	陸上幕僚長	陸 将	湯浅 ^{ゆあさ} 悟郎 ^{ごろう}
イ 演習部隊長	西部方面総監	陸 将	竹本 ^{たけもと} 竜司 ^{りょうじ}
ウ 実施部隊	陸上幕僚監部、陸上総隊、西部方面隊、教育訓練研究本部、統合幕僚監部、海上自衛隊、航空自衛隊等		

(2) 米 軍

ア 統裁官	太平洋陸軍司令官	陸軍大将	ポール J. ラカメラ
イ 演習部隊長	太平洋陸軍第1軍団長	陸軍中将	ランディ ジョージ
ウ 実施部隊	太平洋陸軍司令部、在日米陸軍司令部、太平洋陸軍第1軍団、太平洋海兵隊第3海兵機動展開旅団等		

5 特色

- (1) 現下のコロナ禍においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、テレビ会議を活用した指揮所演習を実施

- (2) 西部方面隊を主体として、対着上陸戦闘等、島嶼部を含む作戦について、陸上自衛隊と米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練

6 新型コロナウイルス感染症対策

本訓練に参加する隊員について、自衛隊員は防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じています。米軍は、健軍駐屯地において本演習に参加する約200名の米軍関係者を含め、在日米陸軍の定める基準等に基づき、自衛隊と同様に必要な感染症対策を徹底しています。あわせて公共交通機関の使用を控えることや、酒場及び社交場への立ち入りを禁止することといった必要な感染症対策を講じることとしています。

また、国外から訓練に参加する米軍関係者には、訓練期間中に在日米陸軍の基準が適用されることに加え、2週間の隔離期間を経た後、PCR検査を受検し陰性が確認された者のみが演習に参加することとなっております。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 南平、空閑（担当）

(TEL: 03-3268-3111 内線40082)